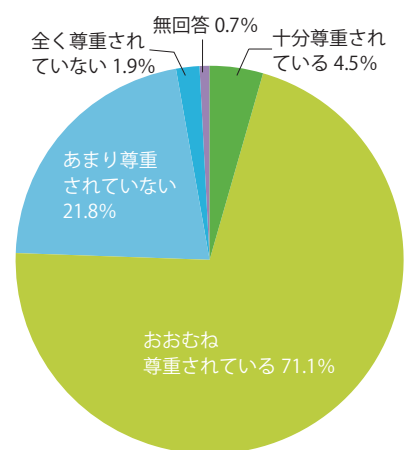


みんなでつくろう、差別のない住みよい町。

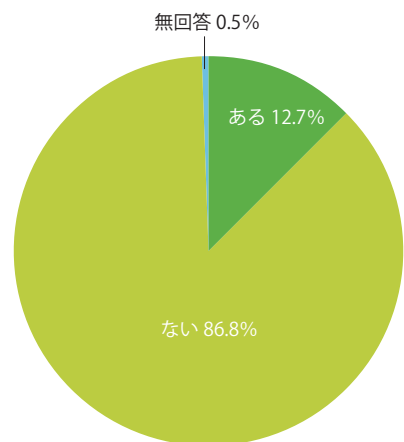
内子町では同和問題を中心とした人権意識を把握するため、3年ごとに意識調査を実施しています。昨年8月11日～9月16日の間、郵送によるアンケート調査を行いましたので、主な結果をお知らせします。対象は町内在住の20～79歳の男女・計1200人。有効回答数は418人（男性175人、女性242人、無回答1人）、回収率は34.8%で、前回（平成30年度）調査時の回収率38.3%を下回っています。

①人権意識と人権侵害の実態

問 今の日本は人権が尊重されている社会だと思いますか。

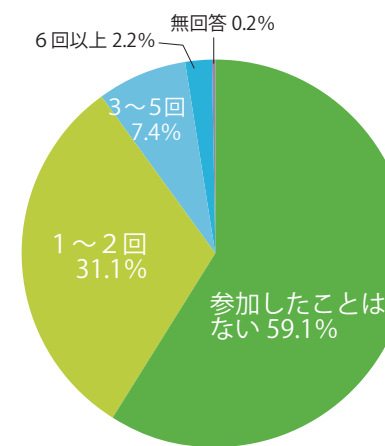


問 最近（過去3年程度）、自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。



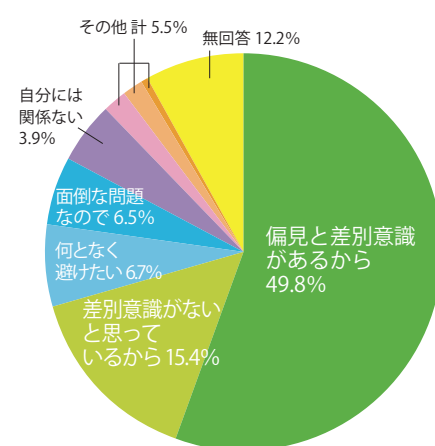
④研修会・学習会への参加状況

問 最近（過去3年程度）同和問題をはじめ人権問題に関わる研修会などに何回くらい参加しましたか。



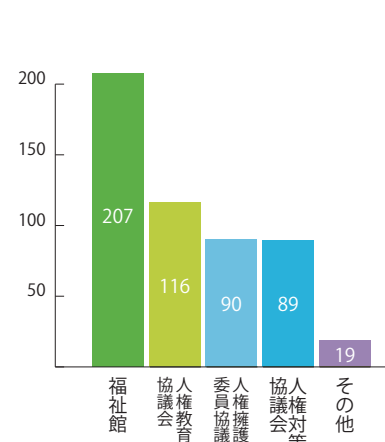
⑤同和問題に関する意識

問 現在でも起こる同和問題。原因となる考え方は、どのようなものだと思いますか。



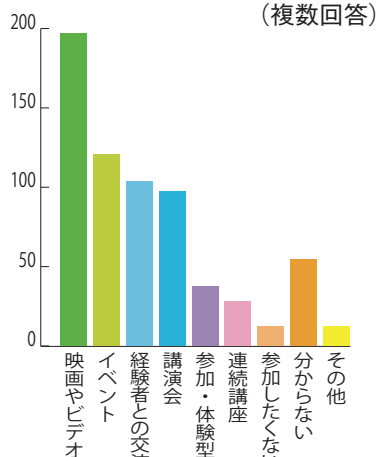
②人権問題への関心度

問 あなたが知っている人権に関する相談窓口をすべて選んでください。（複数回答）



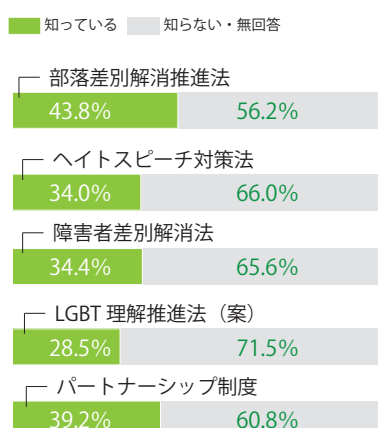
⑥人権問題に対する取り組みに関する意識

問 人権問題に関する学習会や啓発活動にあなたが参加するとしたら、どのようなものが良いですか。（複数回答）



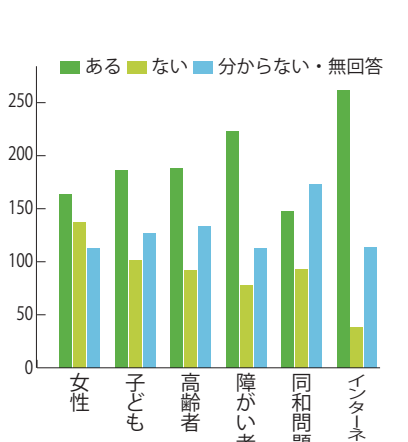
⑦人権関連の法律施行に関する意識

問 次の法律（略称）を知っていますか。知っているものすべて選んでください。（複数回答）

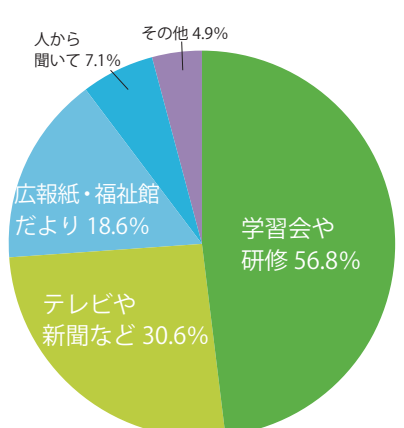


③身近なところにおける人権侵害の認知

問 自分の家庭や職場・地域などの身近なところで、次のような人権侵害があると思いますか。（複数回答）



問 部落差別解消推進法はどのようにして知りましたか。（知っているとしたら115人が対象）



●アンケート結果から考える

アンケート調査では、約7割の人が「日本では人権がおおむね尊重されている」と回答しています。一方で「過去3年の間に、自分の人権が侵害された」とした人の5割以上の人は「日本では人権が尊重されていない」と考えています。

②の人権問題の関心度についての問いでは、「新型コロナウイルス」や「インターネット」に関わる人権問題が50%を超え、新たな人権問題への関心の高さが浮き彫りになりました。③の身近な人権侵害の認知でも「インターネット」という回答が多く、人権侵害の内容としては「根拠のない悪い噂、悪口を掲載」が85%、「無断で人のプライバシーを掲載する」が75%となっています。

⑦の人権関連の法律施行に関する意識の問いでは、「部落差別解消推進法」など差別解消をうたった法律についての認知度は約44%となっており、前回調査の25%から19ポイント

ほど増加しています。パートナーシップ制度以外は研修会に参加したことがある人の方が、ない人よりも認知度が高くなる傾向があるようです。

自由記述では「自分自身の人権問題意識を見直せた」「人権問題について考える場があれば参加していきたい」「人権問題について、多くの人が他人人事と思わないような取り組みが必要である」など、人権・同和教育の推進に積極的な意見が寄せられました。

●アンケート調査のまとめ

内子町における人権啓発活動は十分とは言えない状況ですが、一定の効果を上げていることも分かりました。啓発活動への参加経験が多い人ほど人権侵害に関する相談窓口や差別解消を目指す法律の認知度も高く、人権問題への関心が強い結果となっています。

町内では、うちこ福祉館、各自治センターなどで人権・同和問題学習会を開催し、啓発活動を行っています。すべての人の人権が尊重される住みよい地域づくりを目指して、みんなで共に考え、差別解消に向けて行動していきましょう。

【問い合わせ】

内子町教育委員会（内子分庁内）
自治・学習課 生涯学習係
☎0893（44）2114